CORONA

コロナ石油ファンヒーター（強制通気形開放式石油ストーブ）

取扱説明書

7031

正しく使って上手に節約

FH-B30AY

このたびは、コロナ石油ファンヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に「保証書」と共に大切に保管してください。
同梱の「ご愛用者カード」は必ずご投函ください。

もくじ

1.特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合はガソリン禁止)が描かれています。

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

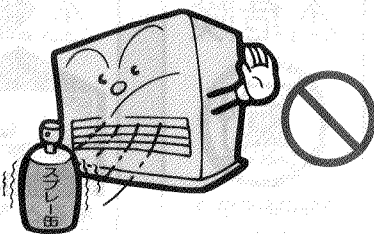
⚠危険

●ガソリン厳禁

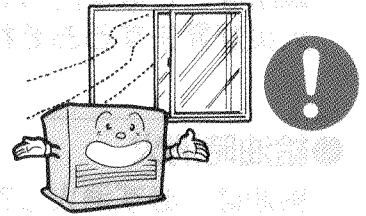
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

⚠警告

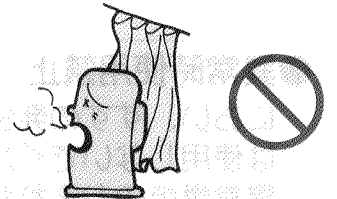
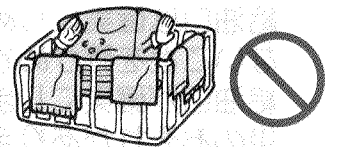
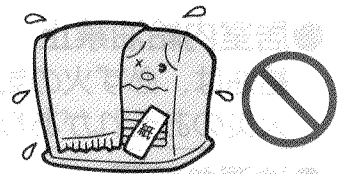
●スプレー缶厳禁

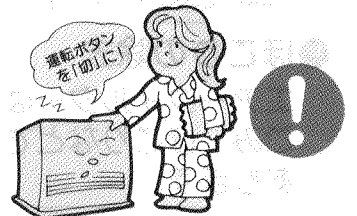
殺虫剤などのスプレー缶を温風のあたるところに
放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発し、危険です。

⚠警告

●換気必要

換気せずに使用しつづけないでください。
酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。
使用中は必ず1時間に1～2回（1～2分）換気して、新鮮な空気を補給してください。
窓の凍結、地下室など換気が十分に行えない場所では、使用しないでください。

●温風吹出口をふさがない

- 衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。
  衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

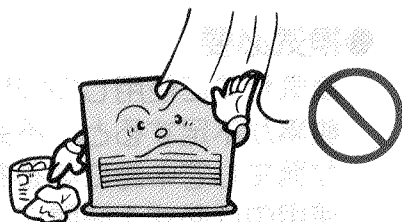
- ストーブガードなどの囲いに干し物を掛けたり、カーテンなどで背面の温風空気取入口がふさがれると、本体が過熱して、操作部が変形したりやけどや故障・破損するなど大変危険です。

●寝るとき消火

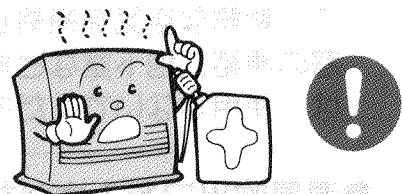
寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
また、人目の届かないところでは、使用しないでください。
不完全燃焼や異常燃焼・火災のおそれがあります。

●可燃性ガス使用厳禁

ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー、ガソリン）、スプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

⚠注意

●カーテン、可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいもののそば、ほこりの多い
場所などでは使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。

●給油時消火

給油は、必ず消火してから行い、こぼれた
灯油は、よくふきとってください。
火災のおそれがあります。

●居室内給油禁止

給油は、必ず火の気のないところで行ってください。
火災のおそれがあります。

●油漏れ確認

給油口は確実にしめ、給油口を下にして、油漏れが
ないことを確かめてください。
給油口が確実にしまっていないと簡単に開いて、火
災のおそれがあります。

●異常時使用禁止

におい、すすの発生、炎の色など異常を感じたとき
は使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

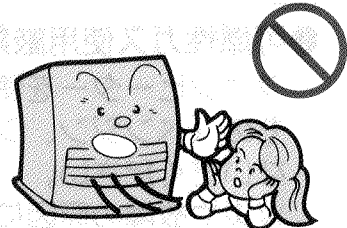
- 緊急時は電源プラグを抜いて消火してください。

●ほこりの除去

エアーフィルターは、週１回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどでフィルターがつまると、異常燃焼のおそれが
あります。

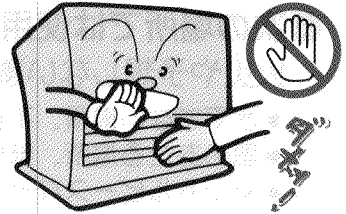
●温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

- お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになる場合は、周囲の人が十分注意してください。
- 衣類などを乾燥した場合、素材によっては色あせすることがあります。

⚠注意

●高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、温風吹出口付近が高温となりますので、手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。

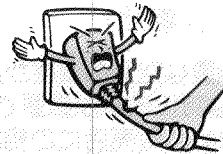
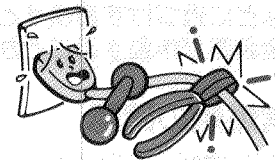
●小さいお子様のいるご家庭では、特に注意してください。

●分解修理・改造の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。
お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

●保管時にしていただくこと

長期間使用しないとき又は保管するときは、必ず灯油を抜いてください。傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
火災のおそれがあります。

●電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

●電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。

●長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

●電源プラグのお手入れを

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり及び金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

⚠注意

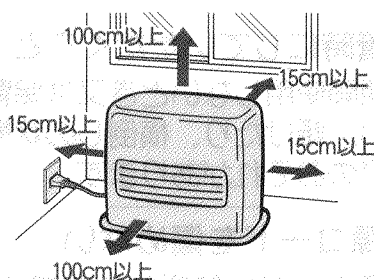
●次の場所では使用しない

火災や予想しない事故の原因になります。

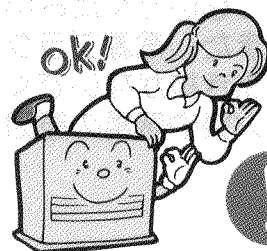
- 水平でない場所、不安定な場所
- 風のあたる場所、部屋の出入口
- マントルピースなどファンヒーターが囲われる場所
- ほこりや湿気の多い場所
- 可燃性ガスの発生する場所又はたまる場所
- 不安定な物を乗せた棚などの下
- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所
- 温室、飼育室など人のいない場所
- 標高が1000mを越えるような高地
- 理・美容院、クリーニング店などスプレーや化学薬品を使う場所

●可燃物との距離を離す

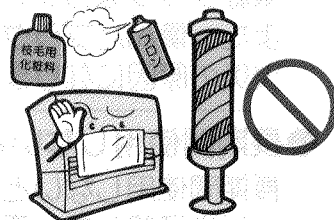
燃えやすいものや障害物とは、必ず右図に示す距離をとって設置してください。
特にカーテンなどがファンヒーターにふれないようにしてください。
火災の発生するおそれがあります。

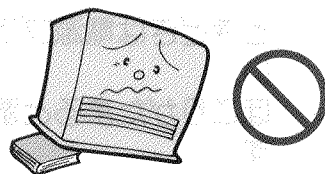
- 壁などに近づけすぎますと、本体内部が過熱して安全装置が作動することがあります。

●正常燃焼の確認

正常に燃焼していることを確かめてください。
（17ページ参照）

- 燃焼に必要な空気の濃度が薄くなる高地(標高800mを越える場所)では特に確認が必要です。
  お買い求めの販売店にご相談ください。

●フロンガス・枝毛用化粧料注意

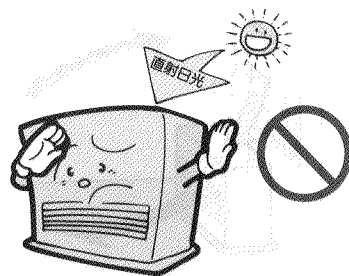
理・美容院や化学工場、クリーニング店などスプレーや化学薬品（フロンガスや塩素系溶剤）を使う場所での使用は避けてください。
フロンガスなどが炎にふれると有毒ガスを発生します。

- シリコン系枝毛用化粧料などの影響により、不完全燃焼や途中消火などの原因になります。

●傾き・振動注意

水平な場所で使用してください。
振動の激しいところでは、使用しないでください。
異常燃焼や誤作動の原因になります。

⚠ 注意

●高温注意

直射日光のあたる場所や、温度の高い場所（例：熱のこもる場所、他の熱源の影響を受ける場所）では使用しないでください。

- 給油タンク内の空気の膨張により、灯油があふれることがあります。

●異物差し込み禁止

温風吹出口やファンヒーターの内部には、紙・布・プラスチックなどの異物を入れないでください。
発煙・発火のおそれがあります。
温風空気取入口の中に、指や棒などを差し込まないでください。けがをするおそれがあります。

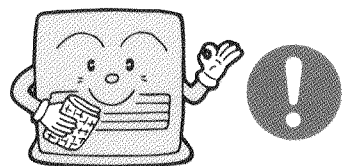
●変質灯油禁止

変質灯油、汚れた灯油、水の混じっている灯油などを使用しないでください。
異常燃焼や故障のおそれがあります。

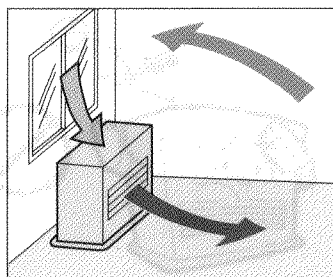
●廃棄するときの注意

ファンヒーターを廃棄処分するときは、必ず給油タンク・固定タンク内の灯油を抜き取ってください。（26·27ページ参照）
灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。

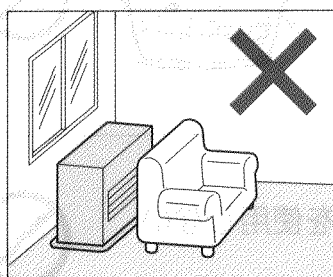
●日常のお手入れ時の注意

日常の点検・手入れは必ず行ってください。
点検・手入れは消火後ファンヒーターが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。やけどや感電のおそれがあります。
（25～27ページ参照）

●アルカリボタン電池に注意

アルカリボタン電池は、誤って飲み込むと危険です。

- 小さいお子様のいるご家庭では、アルカリボタン電池を手の届かないところに保管してください。
- 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

窓の下や壁面に設置

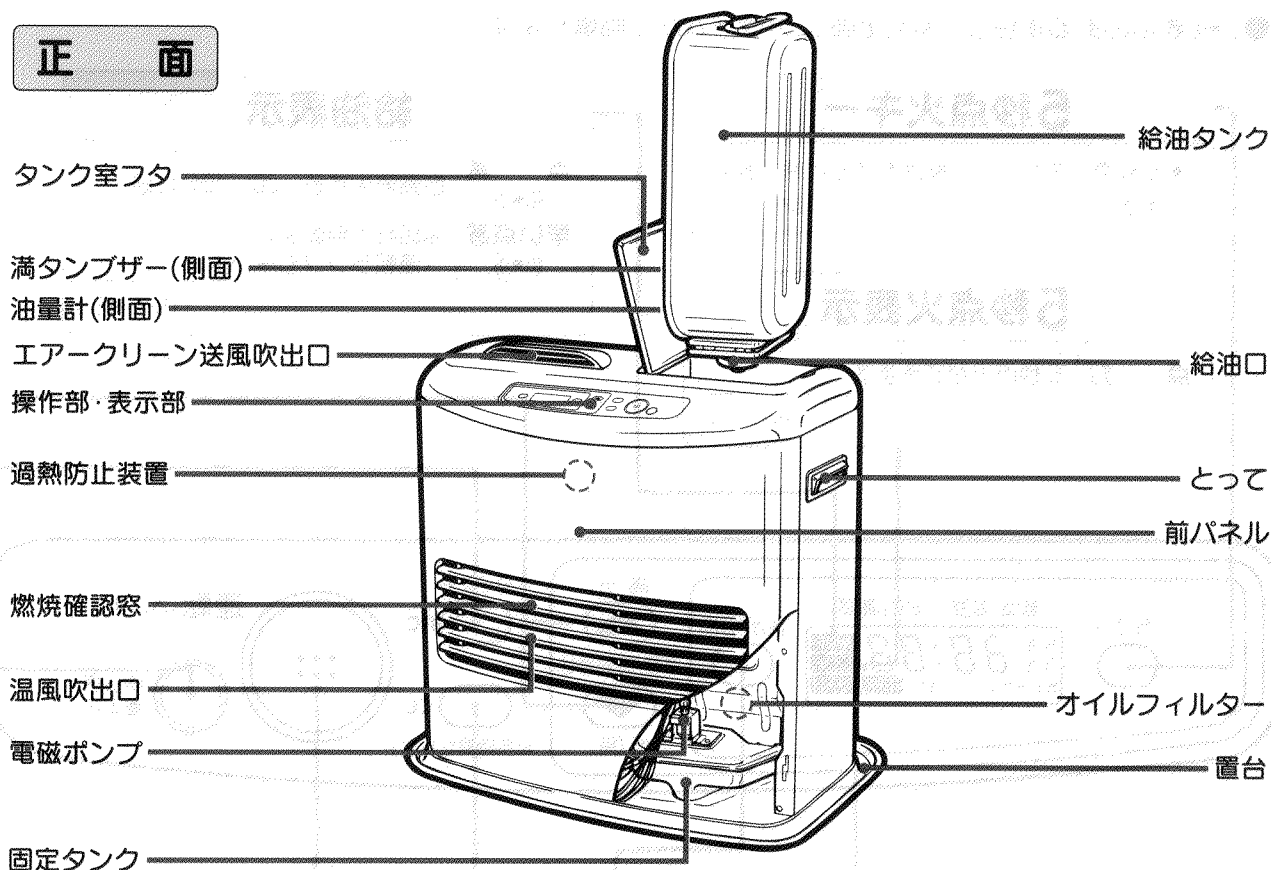
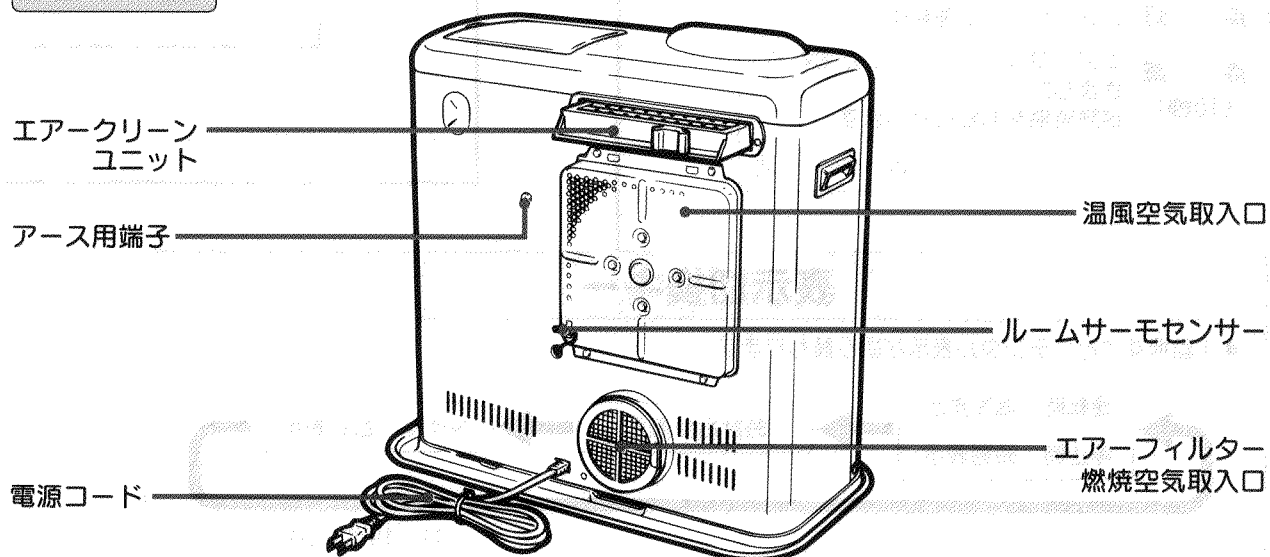
●外気に接する窓の下や壁面に置くと、冷気がファンヒーターで暖められ、温風として対流しますので効果的です。

温風の循環を妨げないで

●温風吹出口の前面に障害物を置かないでください。

●障害物があると、部屋の温度にむらができるばかりでなく、本体の温度が上昇して危険です。

●温風吹出口側の空間を広くとれる場所を選んでください。

3.各部の名称

外観図・構造図

操作部・表示部

●((•))表示のある項目は、点灯初期にアラームが３回鳴ります。

５秒点火キー

- ５秒点火のセット・解除をするときに押します。 （16ページ）

５秒点火表示

点　灯	５秒点火ができます。

（16ページ）

給油表示

点　滅 ((•))	自動消火する　20～40分位前
早い点滅 ((•))	油切れで自動消火（運転ランプも早い点滅）

（15ページ）

５秒点火　設定温度　室内温度　午前　午後　時計合せタイマー合せ　給油　５秒　エアークリーン　表示切換　高（分）　温度/時刻合せ　低（時）　タイマー　AC　CL　延長時間セレクト　運転 入／切　ゆらぎ省エネ

エアークリーン表示

点　灯	エアークリーン運転中
点　滅（10秒）	エアークリーンユニットが汚れてきました。掃除時期をお知らせします。

（22～23ページ）

表示切換キー

- １回押すごとにデジタル表示が切り替わります。

運転時：温度表示 / 停止時：時刻表示 → 時計合せ表示 → タイマー合せ表示 →（最初に戻る）

（11・19ページ）

時刻合せキー

●現在時刻とタイマー時刻を合わせるときに押します。
（時）……時合せ
（分）……分合せ
（19ページ）

温度キー

●設定温度を変えるときに押します。

低……温度を下げる
高……温度を上げる
（17ページ）

タイマー運転ボタン（タイマーランプ兼用）

●タイマー運転するときに押します。

点　灯	タイマー運転中
点　灯 ((•))	タイマー運転による１時間自動消火

（20ページ）

AC（エアークリーン）ボタン

●ファンヒーターが停止中、エアークリーン単独の運転・停止をするときに押します。
（22ページ）

ゆらぎ省エネボタン（ゆらぎ省エネランプ兼用）

●ゆらぎ省エネ運転のセット・解除をするときに押します。

点　灯	ゆらぎ省エネ運転中（セーブ消火中も点灯）

（17ページ）

運転ボタン（運転ランプ兼用）

●点火・消火するときに押します。

点　滅	予熱中（予熱完了後自動点火）
点　灯	燃焼中
早い点滅	何かの原因で自動消火

（16・18ページ）

延長時間セレクトボタン

●運転を延長するとき、運転残り時間をセレクトするときに押します。
（18ページ）

CL（チャイルドロック）ボタン

●チャイルドロックのセット・解除をするときに押します。
（21ページ）

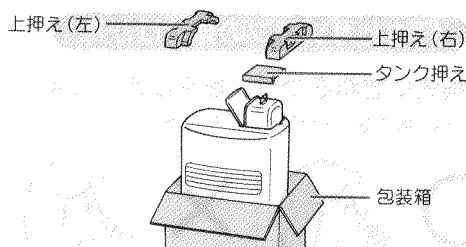
注）イラストは説明のため全部点灯・表示した状態です。

設定温度　室内温度
午前 午後 88:88.
時計合せタイマー合せ
給油 5秒 エアークリーン

デジタル表示部

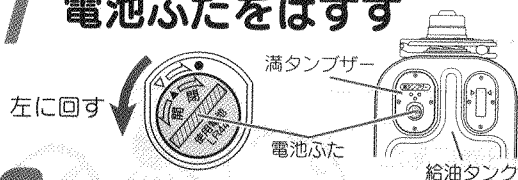
表示例	説明
設定温度　室内温度 22　18	●温度表示 左側：設定温度表示(12℃～30℃) 右側：室内温度表示(0℃～35℃)
設定温度　室内温度 午前　8:30 時計合せ	●現在時刻、時計合せ表示 時計合せ表示消灯：現在時刻 時計合せ表示点灯：時計合せ （例）午前８時30分に時刻をセット
設定温度　室内温度 午前　6:30 タイマー合せ	●タイマー時刻、タイマー合せ表示 タイマー合せ表示点灯 （例）午前６時30分にタイマー時刻をセット
設定温度　室内温度 -- --	●-- -- 表示 初めて電源プラグをコンセントに差し込んだ場合や停電後再通電
設定温度　室内温度 0FF	●0FF 表示点滅：消し忘れ消火装置による自動消火５分前 ●0FF 表示点灯：消し忘れ消火装置による自動消火 タイマー運転による１時間自動消火
設定温度　室内温度 CL	●CL 表示；チャイルドロックのセット表示 運転ボタンを押しても点火しません。（CL 表示点滅）
設定温度　室内温度 E9	●E9 表示；対震自動消火装置の作動 再度、点火操作をしてください。 ●その他の E 表示；途中失火・着火不良(29ページ参照) 灯油の有無を確認後、再度点火操作をしてください。

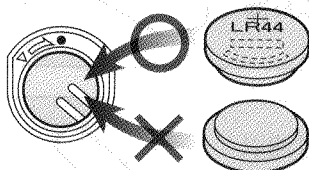
使用前の準備

■包装箱からファンヒーターを出す

●包装箱からファンヒーターを取り出し、パッキン材を取り除いてください。

- 包装箱、パッキン材はファンヒーターの保管に必要です。また、取扱説明書も忘れずに保管してください。

■給油タンクを取り出し、満タンブザーに電池をセットする

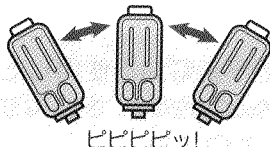
1 電池ふたをはずす

●10円玉等の硬貨などを▨部のへこみ部に入れ電池ふたの▲印部を満タンブザーの▽印位置まで左に回し、電池ふたをはずしてください。

2 電池を入れる

●付属のアルカリボタン電池（LR44）の＋極を上にし、水平にセットしてください。

- 電池の＋と－をショートさせないでください。
- 長時間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。
- 万一液漏れがおこったときは、汚れをよく拭き取ってから、新しい電池と交換してください。

3 電池ふたを取り付ける

●電池ふたの▲印を満タンブザーの▽印に合わせてはめ込み●印位置まで右へ回し、確実に締めてください。

4 電子音の確認

●給油口を下側にし、満タンブザーの電子音（ピピピピッ）が鳴ることを確認してください。

●満タンブザーとは…

給油時に灯油を入れすぎて満タンになったとき、またはご使用中に給油タンク内の灯油が少なくなったときに電子音〔ピピピピッ（約5秒間）〕でお知らせする機能です。

- ⚠注意 アルカリボタン電池は、小さいお子様が誤って飲み込むと大変危険です。手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 電池が消耗しますと、満タンブザーの電子音が小さくなったり、鳴らなくなったりしますので、電池を交換してください。電池を交換しても電子音が鳴らないときは故障ですので、お買い求めの販売店にご相談ください。

使用燃料

燃料は必ず灯油（JIS1号灯油）を使用してください。

- ⚠危険 ガソリン・シンナーなどの揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
  火災の原因になります。
- 変質灯油、不純灯油、汚れた灯油、水の混じっている灯油などは、絶対に使用しないでください。
- 灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光を避けた場所に保管してください。

灯油とガソリンの見分けかた

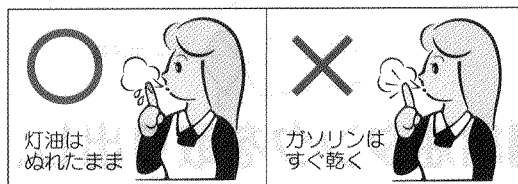
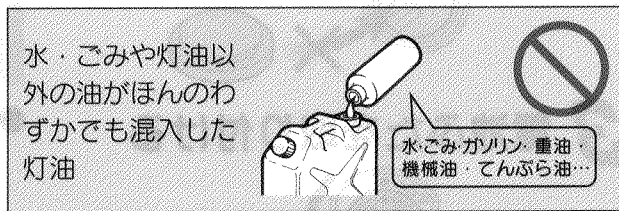
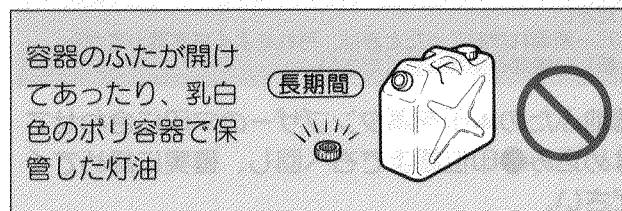
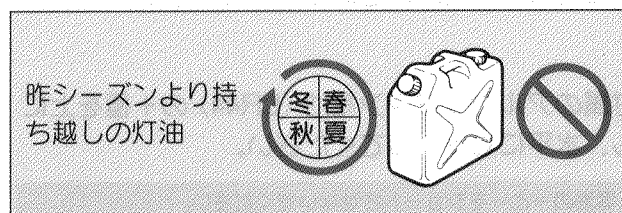
指先に燃料をつけ、息をふきかけます。
（火の気のない所で行ってください。）

■変質灯油・不純灯油とは………

昨シーズンより持ち越しの灯油

長期間日光にあたる所や温度の高い所に保管した灯油

容器のふたが開けてあったり、乳白色のポリ容器で保管した灯油

水・ごみや灯油以外の油がほんのわずかでも混入した灯油

- 極度に変質したものは、黄色味がかったり、すっぱい臭いがします。
- 必ず灯油用のポリタンクをお使いください。
- 灯油はシーズン中に使いきりましょう。

■変質灯油や不純灯油を使用すると…

- 気化筒にタールがたまり、白煙が出て点火しにくくなったり、強い臭いがして、消火しにくくなります。
- 異常燃焼や途中消火など故障の原因になります。

■万一変質灯油や不純灯油を使用したときは、

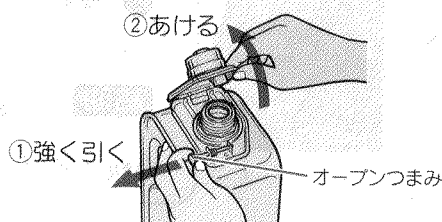
- 給油・固定タンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で2～3回洗ってから使用してください。
  （悪い油が残っていると再発します。）
- 悪い油を抜き取っても効果のないときは、お買い求めの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。

- 変質灯油、不純灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
- 変質灯油の処理でお困りの場合は、灯油をお買い求めの販売店にご相談ください。

給　油

● ⚠注意 給油は必ず消火してから火の気のないところで行ってください。

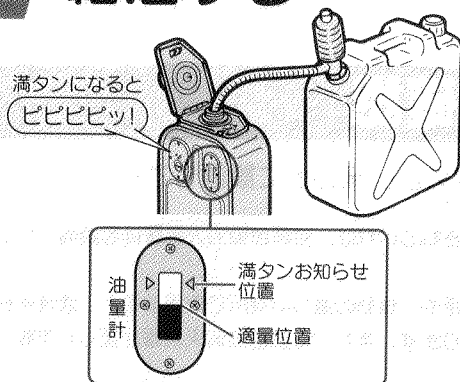
■給油の手順と注意

1 給油タンクを取り出し、給油口を開く

●オープンつまみを強く引いて、給油口を開いてください。

- 燃焼中は絶対に給油タンクを取り出さないでください。
- 給油タンクは、ぶつけたり落としたりしないよう、ていねいに取り扱ってください。

2 給油する

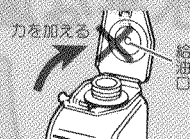
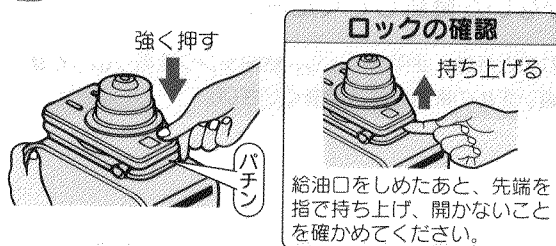
満タンになると
ピピピピッ!

油量計
満タンお知らせ位置
適量位置

●市販の給油ポンプなどを使用して、油量計を見ながら給油してください。
●油量計の半分くらいまで黒色に変わったら、給油をやめてください。

- 万一灯油を入れすぎた場合、満タンブザーの電子音〔ピピピピッ(約5秒間)〕でお知らせします。満タンブザーが鳴りはじめたらすぐ給油を止め、あふれさせないよう注意してください。
- 給油口に力を加えて変形させたり衝撃などを受けて変形しますと、油漏れや給油口が完全にしまらない原因になりますので、変形させないでください。
- 給油ポンプのホースが抜けないよう注意してください。

3 給油口をしめる

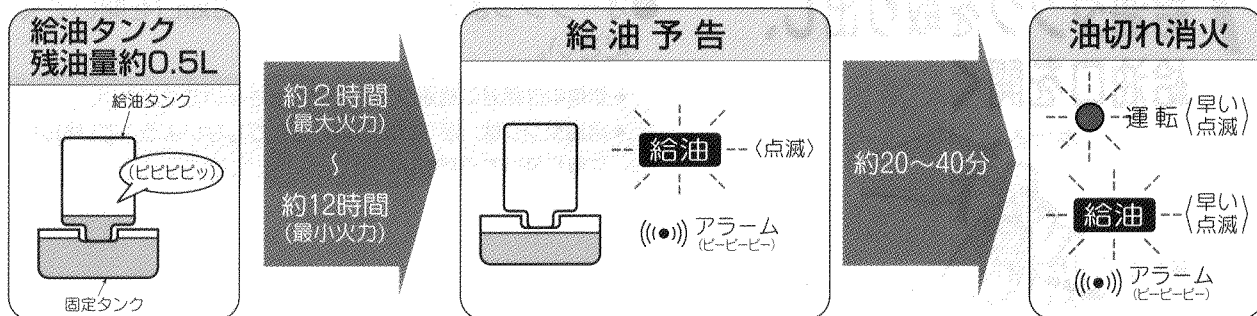
ロックの確認

給油口をしめたあと、先端を指で持ち上げ、開かないことを確かめてください。

● ⚠注意 給油口は、確実に「パチン」と音がするまで図の位置を強く押してください。
給油口を下にして、油漏れがないことを確かめてから、ファンヒーターに正しく静かに入れてください。

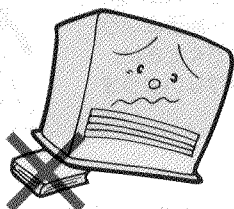
- こぼれた灯油はよくふき取ってください。
- 給油タンクが正しくセットされていないと、不着火や途中消火の原因になります。

ご注意
- 満タンブザーの電子音にたよらず、必ず油量計を見ながら給油し、あふれさせないよう注意してください。
- 冷えたところで給油し、給油量が少ない（半分以下）場合は、給油口を開いたまま、しばらく室温になじませてからセットしてください。
- 給油タンクを持ち運ぶとき、満タンブザーのフロートが作動して、電子音が鳴ることがありますが、異常ではありません。
- 給油時、満タンブザーに灯油がかからないよう注意してください。

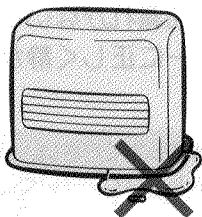
■灯油が少なくなると

●ご使用中、給油タンク内の灯油が少なくなると、給油アラームの電子音〔ピピピピッ(約5秒間)〕でお知らせします。そのまま使用し、固定タンク内の灯油が少なくなると、給油表示とアラームで給油の予告をしますので、早めに給油してください。
給油しないで使用し続けますと、油切れとなり自動消火し、アラームと給油表示・運転ランプの早い点滅でお知らせします。

●灯油がなくなって消火した場合は、必ず給油してから点火操作を行ってください。
給油をしないと再運転できません。

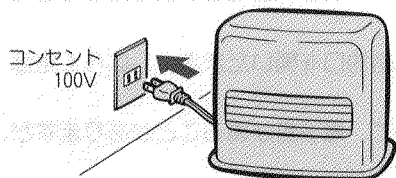
点火前の準備と確認

水平な場所に設置

●水平で安定のよい床の上に設置してください。

- 水平に設置されていれば、対震自動消火装置は自動的にセットされます。
- 傾斜した場所や、振動の激しい場所で使用すると、燃焼不良の原因になります。また、対震自動消火装置が正しく作動しません。

油漏れの確認

●置台・給油タンクに、油漏れ・油たまりや油のにじみがないか確認してください。

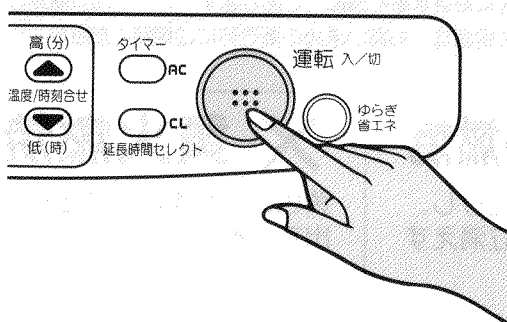
- 油漏れのときは、使用を中止し、給油タンクを取り出してからお買い求めの販売店にご相談ください。

電源の接続

●電源プラグをコンセントに刃の根元まで確実に差し込んでください。

ご注意 電源プラグ・コードの発熱・発火を防ぐために…

- 電源は、必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。

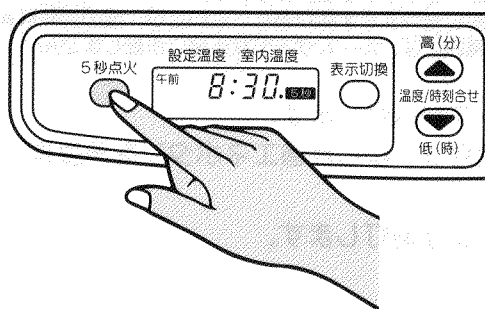
点　火

運転ボタンを押す

●運転ランプが点滅します。

●予熱が完了すると自動点火し、運転ランプは点灯に変わります。

- 着火時、放電音と同時に着火音を発しますが、異常ではありません。
- 点火操作から放電（着火）まで、室温により多少変化しますが、約2分の予熱時間がかかります。
  （低温時（5℃以下）は、約2～3分の予熱時間がかかります。）
- 点火時や消火時には、白煙や臭いがでますが異常ではありません。（寒いときの点火時には、燃焼ガス中の水蒸気が白く見えるため、通常より多めの白煙が出ます。）

■5秒点火

5秒点火キーを押す

●5秒点火表示が点灯します。

●5秒点火表示を点灯しておきますと、点火操作後、約5秒で点火します。

●5秒点火を解除するときは、もう一度5秒点火キーを押して、5秒点火表示を消灯してください。

- あらかじめ5秒点火表示を約2分点灯しておかないと、5秒点火しません。
- 5秒点火は12時間たつと自動的に解除されます。
- 5秒点火表示が点灯しているときは、運転停止中のみ約70Wの消費電力がかかります。
- 運転停止中に5秒点火表示が点灯しているときは、温風空気取入口が少し暖かくなります。
- タイマー運転にすると5秒点火は自動的に解除され、5秒点火キーを押しても5秒点火表示は点灯しません。

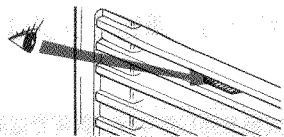
●5秒点火とは…

運転停止中に予熱しておくことにより、点火時間を短縮させる機能です。

■初めてのご使用・シーズン初めの初使用時には………

- 給油タンクをセットしてから、4～5分位待って点火操作をしてください。
- 防錆油や塗料などが焼けるため、煙や臭いがでます。しばらくの間、換気をしながらご使用ください。
- 送油経路の空気たまりなどにより、1回で着火しないことがあります。点火操作を2～3回くりかえしてください。
- 着火時、送油経路への空気の混入により、煙や臭いが発生し、一時的に炎が大きくなることがありますが異常ではありません。
- 予熱時間が通常より少し長くなることがあります。

炎の状態

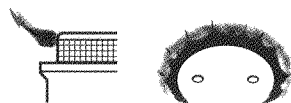
炎の状態の確認

●着火しましたら、燃焼確認窓から燃焼状態を確認してください。

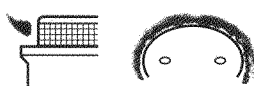
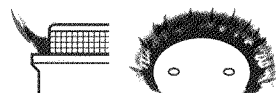
- 出荷時に燃焼状態を調節してあります。万一、燃焼状態が不適正の場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

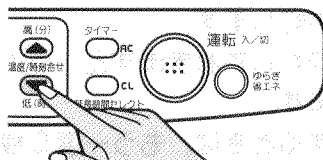
○ 正常燃焼

青い炎の中に少し黄色い炎が混じっている。

（バーナが赤熱することがありますが異常ではありません。）

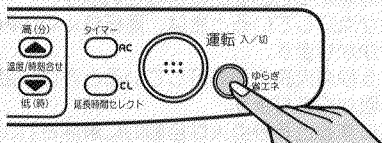
× リフト燃焼

炎が飛んだり浮いたりし、音や臭いが出て、立消えすることがある。

× 黄火燃焼

黄色い炎が連続して全周に出ている。

室温の調節

温度キーを押す

●温度キーを押して希望の温度に合わせてください。

- ルームサーモにより、設定温度に応じて自動的に火力調節を行います。
- ルームサーモはファンヒーター周辺の温度を感知していますので、お部屋の温度計とは数値が一致しないことがあります。
- ファンヒーターに直射日光やすきま風があたっていたり、他の光熱器具の影響を受けている場合には、ルームサーモが正確に作動しません。

■ゆらぎ省エネ運転

ゆらぎ省エネボタンを押す

●ゆらぎ省エネランプが点灯します。

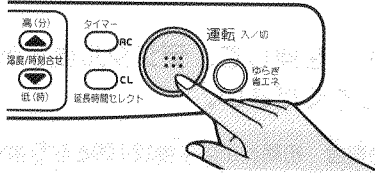
●通常運転に戻す場合は、ゆらぎ省エネボタンを再度押してください。
ゆらぎ省エネランプが消灯します。

●ゆらぎ省エネ運転とは……

室温が設定温度まで上昇し、一定温度を保って暖房すると暖かさを感じにくくなります。そこで火力(燃焼量)を周期的にコントロールし、室温を微妙に変化(ゆらぎ)させることにより、暖かさを保ちながら火力を抑えて効果的に暖房します。さらに室温が設定温度より約3℃上昇すると、自動的に消火(セーブ消火)し、設定温度まで下がると自動的に再点火し、室温を調節します。
最小火力でも室温が上昇する場合(気温の高いとき、日あたりのよい部屋など)は、ゆらぎ省エネ運転をお選びください。

ご注意
- セーブ消火中は、ゆらぎ省エネランプのみ点灯しています。
- ゆらぎ省エネ運転にセットすると、電源プラグを抜いたり、停電などがないかぎり、運転ボタンを押すと自動的にゆらぎ省エネ運転となります。

消　火

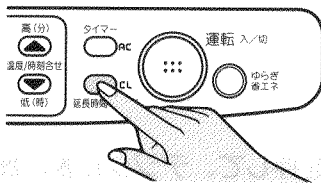
運転ボタンを押す

●消火し、運転ランプが消灯します。

- 消火後は本体内部が冷却するまで送風を継続します。
- 消火操作後は、火が消えていることを確かめてください。
- 消火時、電磁ポンプの制御音（ヒューンというような音）がします。

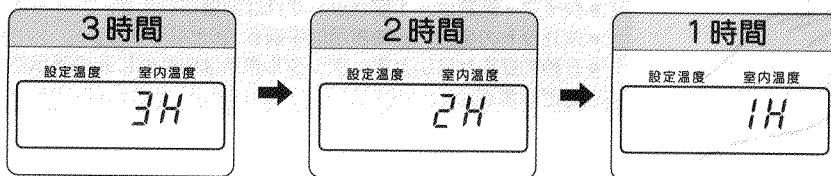
ご注意
- 緊急時以外に、ファンヒーターに強い衝撃を与えたり、電源プラグを抜いての消火はしないでください。
- 消火直後に再点火すると、着火音が多少大きくなります。
- むやみに点火、消火をくりかえすと、臭いの原因になります。

消し忘れ消火装置(3時間自動消火機能)

万一の消し忘れを防止するため、点火操作後3時間で自動消火し、アラームと OFF 表示の点灯でお知らせします。

延長時間セレクトボタンを押す

●連続で運転したいときは、自動消火する前に延長時間セレクトボタンを押してください。
押したときから、さらに設定した時間だけ運転を継続します。

■延長時間セレクト

延長時間セレクトボタンを1回押すごとに、運転残り時間が次のように選べます。

（もう1度押すと3時間になります。）

延長時間セレクトボタンを押している間、デジタル表示部には延長時間が表示されますが、手を放すと自動的に温度表示に切り替わります。

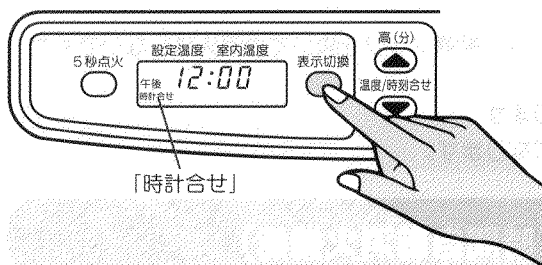
● ⚠警告 長時間連続して運転するときは、お部屋の換気に十分気をつけてください。

タイマーの使用方法

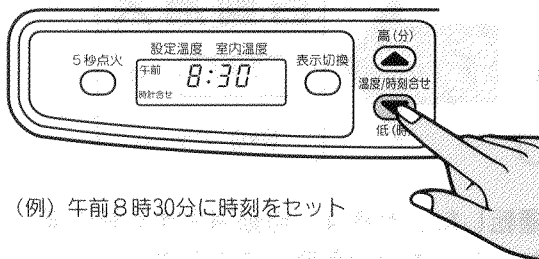
■現在時刻の合わせかた

1 時計合せ表示にする

●表示切換キーを押して、デジタル表示部を時計合せ表示にしてください。

・未セットの場合、初期表示は午後12：00となります。

2 時刻を合せる

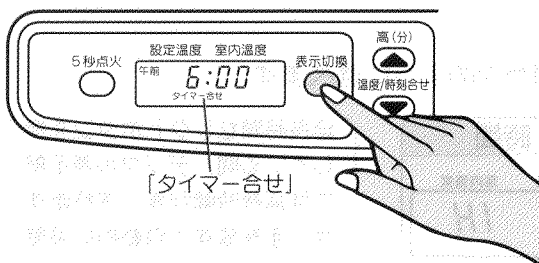
●時刻合せキー(時)・(分)を押して、デジタル表示部の時刻を合わせてください。
●キーを押しつづけると、表示は連続して変わります。

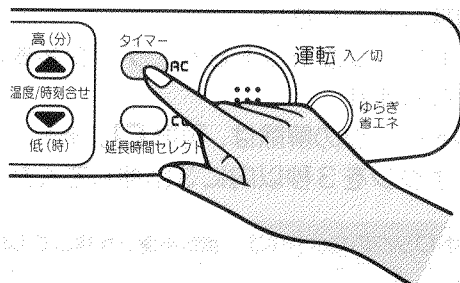
・時刻を合わせるときは、午前、午後をまちがえないよう注意してください。
・５秒間操作がないとき、デジタル表示は自動的に元の表示にもどります。

（例）午前８時30分に時刻をセット

■タイマー時刻の合わせかた

タイマー合せ表示にする

●表示切換キーを押して、デジタル表示部をタイマー合せ表示にしてください。
●現在時刻の合わせかたと同様にして希望のタイマー時刻に合わせてください。

・タイマー時刻は、１度セットすれば記憶されます。
・未セットの場合、初期表示は午前６：00となります。
・５秒間操作がないとき、デジタル表示は自動的に元の表示にもどります。

■タイマー運転のしかた

タイマー運転ボタンを押す

●運転中または、運転ボタンを押した後、タイマー運転ボタンを押してください。

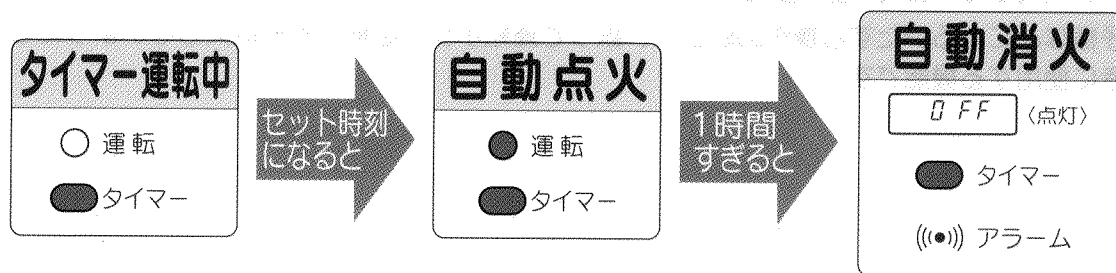
●タイマーランプが点灯し、デジタル表示部は時刻表示に切り替わります。

●合わせた時刻になると、自動的に運転を開始します。

●タイマー運転を解除したいときは、運転ボタンを押してください。
タイマーランプが消灯します。

• 室温が低いときは、タイマー時刻より早め（5～15分位）に運転を開始します。

点火後１時間で自動消火します

●安全にご使用いただくため、点火後１時間で自動消火し、アラームと OFF 表示の点灯でお知らせします。（タイマーランプは点灯）

続けて運転したいときは、再度点火操作をしてください。

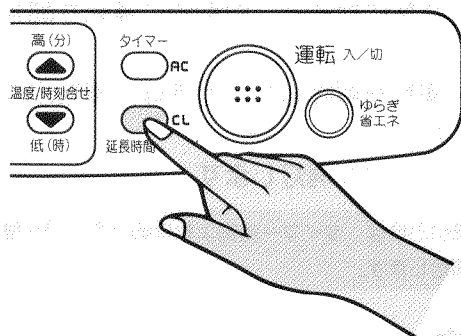
● ⚠警告 長時間連続して運転するときは、お部屋の換気に十分気をつけてください。

ご注意 • **外出時など、留守中に燃焼を開始するようなタイマーセットは、絶対にしないでください。**

• タイマーセット時刻を確認するときは、表示切換キーを押して、デジタル表示部をタイマー時刻表示にしてください。

• 未セットの場合や電源プラグをコンセントから抜いたとき、停電後再通電したときは、タイマー運転はしません。
再度、現在時刻合わせ・タイマー時刻合わせを行ってください。

チャイルドロック

CL(チャイルドロック)ボタンを3回押す

●停止中にCL(チャイルドロック)ボタンを３秒以内に３回押してください。

●チャイルドロックがセットされ、デジタル表示が CL となります。

●チャイルドロックの解除は、再度CL(チャイルドロック）ボタンを３秒以内に３回押してください。

- チャイルドロックのセット中は、運転ボタンを押しても点火しません。
  （運転ボタンを押すと、アラームと CL 表示の点滅でお知らせします。）
- ５秒点火セット中は、チャイルドロックのセットはできません。

●チャイルドロックとは…

お子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転ボタンを押しても点火しないようにしたいときに使用する機能です。

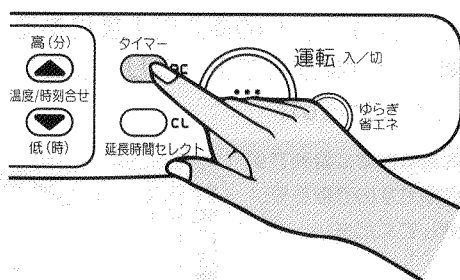
エアークリーンの使用方法・お手入れ方法

■使用方法

通常はファンヒーターの燃焼が始まると同時にエアークリーン表示が点灯し、自動的にエアークリーン運転します。

●ファンヒーターの運転を停止すると同時にエアークリーンも停止します。

エアークリーン運転だけをしたいときは

AC(エアークリーン)ボタンを押す

●ファンヒーターの停止中にAC(エアークリーン)ボタンを押すと、エアークリーン表示が点灯し、エアークリーン運転をします。

●もう一度 AC(エアークリーン)ボタンを押すと、エアークリーン表示が消灯して、エアークリーン運転は停止します。

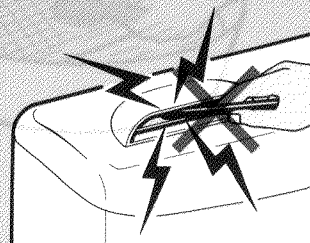
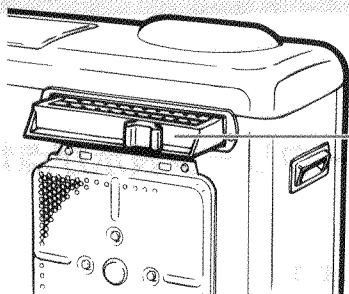
●エアークリーンを単独運転したときは、対流用送風機により温風吹出口からも風が出ます。

●⚠注意 暖房シーズン終了後など、暖房を必要としないときは、安全のため必ず給油タンクと固定タンク内の灯油をすべて抜いてください。

●室内の温度が低いときや高いとき・湿度が高いときなどには、エアークリーン表示が点滅しエアークリーン運転しないことがあります。

●エアークリーン運転中は、わずかにイオンシャワーの「シャー」音とオゾンの臭いがします。

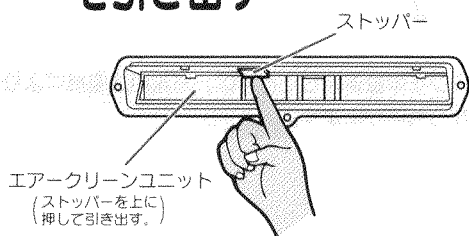
●エアークリーン吹出口内部にごみや異物などを入れないでください。(特に金属類は絶対に入れないでください。)

●アース用端子(アース専用⊕ネジ)を使用してアースを接地してください。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

■お手入れ方法

●エアークリーン機能をいつも最良の状態でご使用いただくため、定期的にエアークリーンユニットの点検・手入れをしてください。

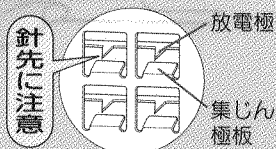
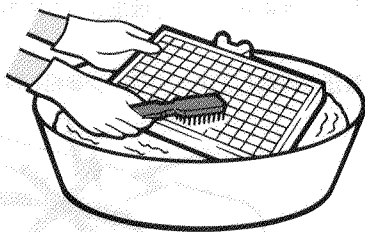
●必ずエアークリーン運転を停止してから行ってください。

エアークリーンユニットの掃除

エアークリーンユニットが汚れると、エアークリーン表示の点滅(10秒)で掃除時期をお知らせします。

1 エアークリーンユニットを引き出す

●エアークリーンユニットの挿入口上部にあるストッパーを押し上げながらエアークリーンユニットを引き出してください。

●放電極の先端は非常に鋭利です。ふれると危険ですので取り扱いには、注意してください。

針先に注意

2 エアークリーンユニットを洗浄する

●中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水にひたして、いらなくなった歯ブラシなどで汚れを落としてください。

●すすぎ洗いをした後、日陰でよく乾かしてから、本体内にセットしてください。

●洗浄・乾燥した後でもエアークリーン表示が点滅するときは、乾いた歯ブラシなどで針先をかるくブラッシングしてください。

●エアークリーンユニットをぬれたままセットしたときや、正しくセットしていないときにはエアークリーン表示が点滅することがあります。

ご注意 ●汚れを落とすとき、放電極・集じん極板などを変形させないように注意してください。
●洗浄するとき、ゴム手袋などをして、放電極の針先でけがをしないように注意してください。

6.安全装置

このファンヒーターには次のような安全装置がついています。
すべての安全装置は、異常が取り除かれても再度点火操作をしなければ運転は停止したままです。

安全装置	原因	処置方法
対震自動消火装置	●強い地震や振動、衝撃を受けたとき E9	●地震によって作動した場合は、周囲の可燃物、本体の損傷、灯油のあふれなど異常がないことを確認した後、点火操作をしてください。 (作動後は自動的にセットされます。)
不完全燃焼防止装置	●部屋の換気不足のとき ●エアーフィルターの目づまりによる燃焼用空気不足のとき E4	●部屋の換気をしてから点火操作をしてください。 ●エアーフィルターを掃除してから点火操作をしてください。 ●1時間に1～2回程度必ず換気してください。
点火安全装置・燃焼制御装置	●点火ミスをしたとき ●異常燃焼をしたとき E0・E2	●日常の点検・手入れ(25～27ページ参照)をしてから点火操作をしてください。 ●なおも異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
停電安全装置	●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき (空白)・-- -- (作動時) (復帰時)	●通電後、点火操作をしてください。 ●電源プラグを確認してください。
過熱防止装置	●温風空気取入口や温風吹出口がふさがったとき ●温風吹出口の前面に障害物などがあるとき (空白)・-- --・EH (作動時) (復帰時) (作動時)	●本体が冷えてから、温風空気取入口や温風吹出口の点検・清掃、周囲の確認をした後、点火操作をしてください。 ●処置後も作動する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
消し忘れ消火装置	●万一の消し忘れを防止するため、点火操作後3時間で自動消火します。 OFF	●点火操作をしてください。 (18ページ参照)

7.日常の点検・手入れ

点検・手入れは、消火後ファンヒーターが十分冷えてから、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

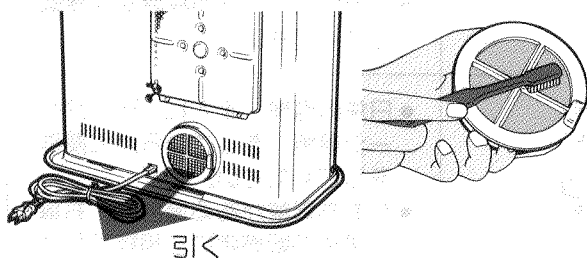
使用ごとの点検

周辺の可燃物

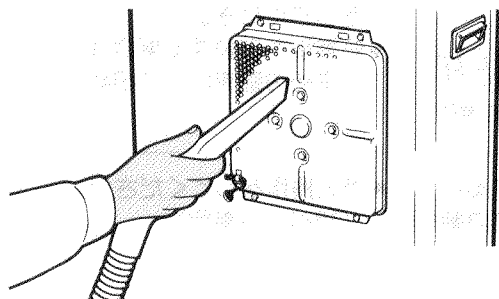
- ⚠注意 ファンヒーターの周辺には燃えやすいものを置かないでください。

油漏れ・油のたまり 油のにじみ

- 油が漏れていたり、油のたまり、にじみがないか点検してください。
- 油漏れのあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

エアーフィルターの掃除(週1回以上)

- エアーフィルターをはずして、掃除機又は、ブラシできれいに掃除してください。

- ⚠注意 エアーフィルターが、ごみやほこりで目づまりすると燃焼不良の原因になります。
- 水洗いをしたときは、よく乾燥させてから取り付けてください。
- エアーフィルターをはずしたままで使用しないでください。
  (はずしたままでご使用されますと、ごみ・ほこりなどが送風経路に侵入し、異常燃焼の原因になります。)

温風空気取入口の掃除(週1回以上)

背面の温風空気取入口に綿ごみなどが付着すると風量が減少し、本体内部の温度が上昇して過熱防止装置が作動することがあります。

- 掃除機又は、ブラシできれいに掃除してください。

ご注意
- ルームサーモセンサーをむやみに曲げたり、ひっぱったりしないでください。
- 羽根や内部にごみやほこりなどが多く付着したときは、お買い求めの販売店又は、修理資格者のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

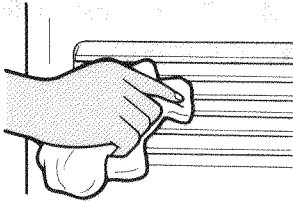
対震自動消火装置の点検(月1～2回)

作動の確認

●燃焼中に本体をゆすり、対震自動消火装置が作動して消火するか確認してください。――― E9

ご注意 ●対震自動消火装置は絶対に分解しないでください。

温風吹出口の掃除(週1回)

やわらかい布でふき取る

●本体や温風吹出口の汚れは、本体が冷えてから、しめらせたやわらかい布でふき取ってください。

- しつこい汚れは中性洗剤を使用し、十分からぶきしてください。

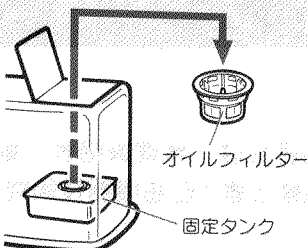
ご注意 ●温風吹出口はホーロー仕上げですので強い力を加えないでください。変形したり、ホーローがはがれたりすることがあります。

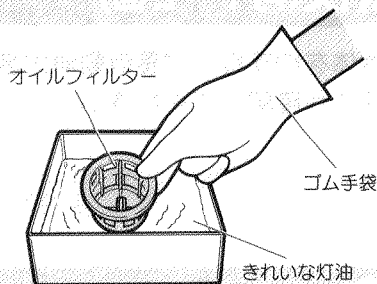
オイルフィルター・固定タンクの掃除(1シーズン 1～2回)

オイルフィルターや固定タンクに水やごみがたまると、給油タンクに灯油が入っていても……

- 点火しない――― E0 E2
- 炎がリフトし、臭いがする
- 点火しても途中消火する―――
- 給油表示が点滅し、運転しない

■オイルフィルター
■固定タンク
の掃除

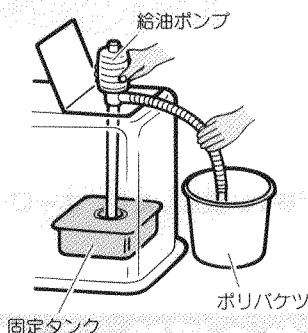
1 オイルフィルターを取り出す

●固定タンクからオイルフィルターを取り出してください。

- オイルフィルターを取り出すとき、水やごみを固定タンクに落とさないよう注意してください。

2 きれいな灯油で洗う

●オイルフィルターの中の水やごみを取ってからきれいな灯油で洗ってください。
●ごみが取れにくい場合は、歯ブラシなどを使うと便利です。

- フィルター部を破損させないよう注意してください。
- フィルター部に水が付着した場合は、十分に乾燥させてください。

ご注意 ● 水洗いは絶対にしないでください。水で洗うと灯油が通過しなくなります。

3 ごみや水を抜く

●固定タンク内にたまっているごみや水を市販の給油ポンプなどで抜いてください。

4 オイルフィルターをセットする

●オイルフィルターをもとどおりにセットしてください。

- こぼれた灯油はよくふき取ってください。

ご注意 ● オイルフィルターおよび固定タンクの掃除を行っても、点火しない・炎がリフトし臭いがする・途中で消火する場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

● ⚠注意 電気部品の分解や市販品との交換は絶対にしないでください。
燃焼部の分解は絶対にしないでください。

8.定期点検

長期間ご使用になりますと、器具の点検が必要です。

●2年に1回程度、シーズン終了後などにお買い求めの販売店又は、修理資格者〔(財) 日本石油燃焼機器保守協会 (TEL 03-3499-2928) で行う技術管理講習会修了者 (石油機器技術管理士) など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

9.故障・異常の見分け方と処置方法

次のような現象は故障ではありません。

●修理を依頼される前にもう一度お確かめください。

	現象	説明
点火時・消火時	初めて使用するとき、煙や臭いがでる。	耐熱塗料やほこりが焼けるためです。 しばらく窓をあけて換気をしてください。
	初めて使用するときや、シーズン初めの初使用時に1回で着火しない。	固定タンクに灯油がみたされるまで4～5分位待って点火操作をしてください。 送油経路の空気たまりなどにより、1回で着火しないことがあります。2～3回点火操作をくりかえしてください。
	すぐに点火しない。	石油ガス化方式のため予熱時間が約2分程必要です。（予熱時間は室温により多少変化します。） 初使用時は予熱時間が通常より少し長くなることがあります。
	点火時や消火時に白煙や臭いが出る。	点火時や消火時の多少の白煙や臭いは異常ではありません。
	燃焼開始時や消火後に「ピチ・ピチ」という音がする。	器具本体が熱により膨張、収縮するためです。
燃焼時	点火プラグ・炎検知器・バーナヘッドが赤くなる。	炎に熱せられ赤熱するためです。
	炎が赤橙色に輝く。	下記のような場合炎が赤橙色に輝くことがありますが異常でありません。 ●海岸に近い所など空気中に塩分が多い場合 ●空気中にほこりや水分が多い場合 ●超音波加湿器を使用している場合
	使用中にときどき「ポコ・ポコ」という音がする。	給油タンクから固定タンクの方に灯油が流出するときの音で異常ではありません。
	使用中にときどき「コト・コト」という音がする。	電磁ポンプの動いている音で異常ではありません。
その他	温風吹出口が汚れる。	「日常の点検・手入れ」（26ページ）にしたがい掃除をしてください。

●次の表にもとづいて、もう一度お確かめください。
●処置方法により処置しても良くならないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

原因 ＼ 現象	点火しない	白煙が出てすぐとまる	使用中室内が臭う	使用中消火する	赤火で燃える	炎がリフトする	油漏れがする	E表示 E0 E2 E4	E表示 E9	E表示 EH	処置方法
電源プラグがコンセントに差し込まれていない	●										コンセントに確実に差し込む
停電中である	●										通電されるまで待つ
対震自動消火装置が作動した				●					●		再点火操作をする。安定した場所で使用する
給油タンクに灯油がない	●										給油する
給油口がしっかりしまっていない							●				給油口をしっかりしめる
不良灯油を使用している	●	●	●	●		●		●			良質の灯油を使用する
送油経路に水または、ごみがたまっている	●	●		●		●		●			送油経路の水抜き、オイルフィルターの掃除をする
給油タンクの装着が悪い	●			●							固定タンクに正しく装着する
オイルフィルターが取り付けられてない	●			●							固定タンクに正しく装着する
送油経路接続部がゆるんでいる			●	●		●	●				販売店に修理を依頼する
エアーフィルターが目づまりしている	●	●	●	●	●			●			エアーフィルターを掃除する
過熱防止装置が作動した：温風吹出口がふさがれている			●	●						●	障害物を取り除く
過熱防止装置が作動した：温風空気取入口がほこりでつまっている			●	●						●	温風空気取入口を掃除する
室温異常上昇防止装置が作動した				●							窓をあけ、部屋の換気をする
消し忘れ消火装置が作動した				●							再点火操作をする
チャイルドロックがセットされている	●										チャイルドロックを解除する

自己診断モニター

デジタル表示部にE表示されたときは、下記の処置をしてください。

点火時および、燃焼中に消火
E0 E2 E4

●オイルフィルターや固定タンクにごみや水がたまっていないか確認後、再度点火操作をしてください。
処置後もE表示するときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電気系統の故障
E1 E5 E6 E7

●修理が必要です。
お買い求めの販売店にご相談ください。

対震自動消火装置の作動
E9

●対震自動消火装置が作動し、運転を停止しました。
周囲の点検・確認後、点火操作をしてください。

停電または過熱防止装置の作動
（作動時） -- -- （復帰時） EH（作動時）

●停電または過熱防止装置が作動し、運転を停止しました。
冷却後、温風空気取入口の点検・清掃、周囲の確認をしてから、点火操作をしてください。

10.部品交換のしかた

● ⚠注意 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要の場合には、お買い求めの販売店または、修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる販売店にご相談ください。

部品交換は **コロナ純正部品** とご指定ください。

●消耗・劣化しやすい部品（交換が必要な部品）

■特に消耗・劣化しやすい部品
(高温火炎中で使用される部品)
- 点火プラグ
- 炎検知器(フレームロッド)

■長期間の使用により消耗・劣化しやすい部品
- バーナヘッド
- バーナヘッドリング

■変質灯油・不純灯油の使用により劣化しやすい部品
- オイルフィルター
- 炎検知器(フレームロッド)
- ポンプフィルター
- 気化筒
- 電磁ポンプ

11.保管(長期間使用しない場合)

おしまいになるときは、日常の点検・手入れの項を参照し、次の要領で保管してください。

1.電源プラグをコンセントから抜いてください。

2.温風空気取入口・温風吹出口・エアーフィルター(25・26ページ参照)
エアークリーンユニット(23ページ参照) **の掃除をしてください。**

3.給油タンクと固定タンク内の灯油を抜き取ってください。(26ページ参照)
●水、ごみなどを残したまま保管すると、さびや穴あきの原因になります。

4.オイルフィルターの掃除をしてください。(26ページ参照)

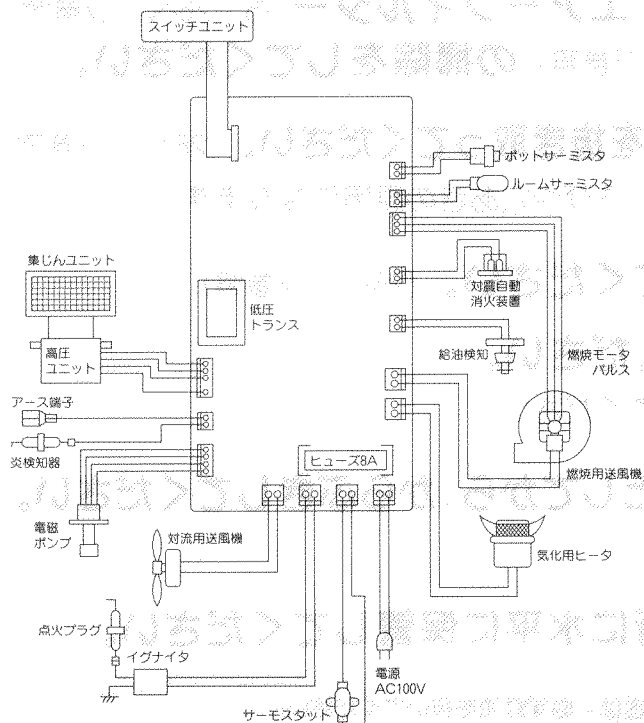
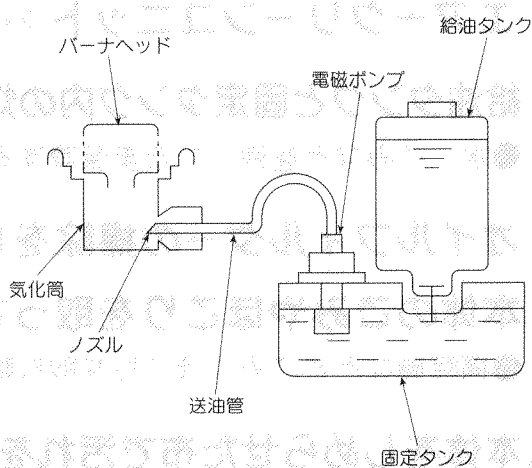
5.本体のごみやほこりを取ってください。
●掃除機などでごみやほこりを取り除いてください。

6.本体をしめらせた布で汚れを落としてから、からぶきしてください。
(26ページ参照)

7.包装箱に入れて、乾燥した場所に水平に保管してください。

- ⚠注意 長期間使用しないときまたは保管するときは、必ず灯油を抜いてください。
  傾けたり、横倒しの状態では絶対に保管しないでください。
  火災のおそれがあります。
- 取扱説明書も大切に保管してください。

12.仕様

形式の呼び		FH-B30AY（基本形式 FH-A30AY）
種類		気化式・強制通気形・強制対流形
点火方式		高圧放電点火
使用燃料		灯油（JIS 1号灯油）
燃料消費量	最大	0.308L/h
	最小	0.052L/h
暖房出力	最大	2.95kW（2,540kcal/h）
	最小	0.50kW（430kcal/h）
騒音（正面）		36dB（最大燃焼時）／22dB（最小燃焼時）
油タンク容量		5.0L
燃焼継続時間		16.2時間(最大燃焼時)
標準適室		木　造　13m²（8畳)まで コンクリート　18m²（11畳)まで
外形寸法		高さ454mm　幅434mm　奥行313mm（置台を含む）
質量		11kg
電源電圧及び周波数		単相 100V　50／60Hz
定格消費電力		点火時 380/380W・燃焼時 24/24W 最　大 560/560W（点火初期に短時間発生）
空気清浄装置消費電力(単独運転時)		14／14W
電流ヒューズ		管形ヒューズ 8A
安全装置		対震自動消火装置　過熱防止装置　点火安全装置　燃焼制御装置 停電安全装置　不完全燃焼防止装置　消し忘れ消火装置
付属品		アルカリボタン電池(LR44)

実体配線図　　送油経路図

■保証について

●このコロナ石油ファンヒーターには保証書がついています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受けとりになり、大切に保管してください。
●保証期間はお買い上げいただいた日から1年間です。
●次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
■変質灯油や不純灯油など、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
■誤った使用方法による故障や事故。

■修理を依頼されるとき

●本書の「故障・異常の見分け方と処置方法」（28・29ページ参照）の項に従って調べても良くならないときは、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。
●保証期間中であれば保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
●お買い求めの販売店にご相談ください。
修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間
●石油ファンヒーターの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後6年です。

●輸送時や運搬時に給油タンク・固定タンク内に灯油が残ったままですと、傾きや振動で灯油がこぼれることがありますので、必ず抜き取ってください。